

製品名: MCM7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85772**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 81 kDa; Observed MW: 81 kDa

抗原情報

遺伝子名	MCM7
別名	MCM7; CDC47; MCM2; DNA replication licensing factor MCM7; CDC47 homolog; P1.1-MCM3
遺伝子 ID	4176.0
SwissProt ID	P33993
免疫原	ヒト MCM7 の合成ペプチド

背景

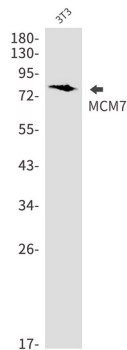
真核細胞における「細胞周期に1回」のDNA複製開始および伸長に必須の、推定複製ヘリカーゼであるMCM2-7複合体（MCM複合体）の構成要素として機能します。MCM2-7リングの活性ATPase部位は、隣接する2つのサブユニットの相互作用面を介して形成され、保存されたアルギニンフィンガーモチーフの重要な構造が、隣接サブユニットのウォーカーAボックスのATP結合部位に対してトランスに配置されています。

研究分野

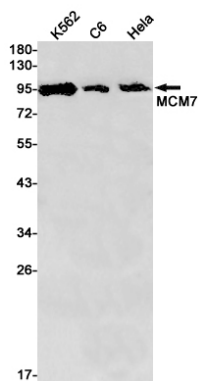
-

画像データ

MCM7抗体を使用した3T3溶解物中のMCM7のウエスタンブロット分析。



MCM7抗体を使用したK562、C6、Hela溶解物中のMCM7のウエスタンブロット分析



MCM7抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を使用した。

